

シンジェンタグループ 広報室

シンジェンタ ジャパン株式会社
〒104-6021
東京都中央区晴海 1-8-10
オフィスタワーX21 階
Tel: 03-6221-1001 Fax: 03-6221-1051
www.syngenta.co.jp

シンジェンタ シード株式会社
〒289-2304
千葉県香取郡多古町高津原向ノ台 401-2
www.syngentaseeds.co.jp



media release

2008年11月10日 スイス・バーゼル発

シンジェンタ社 アルゼンチンの種子会社 SPS 社 を買収

シンジェンタは本日、SPSアルゼンチン社（SPS）と買収に関する契約書を締結したと発表しました。SPS社は、主に大豆、トウモロコシとヒマワリの開発、生産および販売を専門としています。この買収により、重要な大豆の市場であるアルゼンチンにおけるシンジェンタの存在感を大いに高め、トウモロコシとヒマワリにおける既存の強固な地位を補完することができます。

シンジェンタ社の種子部門の最高執行責任者であるダボア・ピスクは次のように語っています。「この投資は、私たちのアルゼンチンにおける顧客基盤を拡大し、当社の自社開発の大豆とトウモロコシのGM形質の導入を加速するでしょう。アルゼンチンの生産者には、世界の食糧供給における彼らの重要な貢献を支える為のより広い高品質の種子の提供が可能となります。SPS社員全員をシンジェンタにお迎えすることを大変嬉しく思います。」

SPS社は、農業分野において非常に高い評価を得ています。同社は1972年に設立しました。ブエノスアイレス州に拠点を置き、先端の研究開発を行なっています。SPS社は、約50人の従業員を有しており、2008年3月までの事業年度の売上高は1千5百万ドルに達しました。

アルゼンチンは世界第3位の大豆生産国で、世界の大豆生産の約21%を占めています。2007年には、約4千8百万トンが収穫されその殆どがアジアおよびヨーロッパ向けに輸出されています。

シンジェンタは、アルゼンチンにおいてすでにNK®、Rogers® およびS&G® ブランドで、高品質の種子を開発、生産、そして販売をしております。製品ポートフォリオには、大豆、トウモロコシ、ヒマワリ、ソルガムと野菜の種子が含まれます。

ビジネスの譲渡については、アルゼンチンの独占禁止法取締機関へ認可を申請中です。尚、本買収に関する金銭面での詳細は公開されません。

シンジェンタ社について

シンジェンタ社は、革新的な研究と技術とにより持続可能な農業を約束する、世界のアグリビジネスをリードする企業です。農薬事業分野では世界第2位、種子事業分野では、世界第3位にランクされています。2007年度の売上高は92億ドル、世界90カ国以上で事業を展開し、2万1,000人の従業員を擁しています。シンジェンタ社は、スイスとニューヨークの株式市場に上場しています。さらに詳しい情報は、インターネット www.syngenta.com（英語）または、www.syngenta.co.jp（日本語）をご覧ください。

将来の見通しに関する記述についての注意事項

本リリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述は、「見込まれています」、「でしょう」、「の予定です」、「潜在的な」、「計画」、「展望」、「推定」、「目的」、「目標」またはその他これに類似した表現により特定されます。そのような将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要素により影響を受けるため、実際の結果と異なる可能性があります。そのようなまたはその他のリスクと不確定性については、シンジェンタ社が米国証券取引審議会に提出した入手可能な書類をご参照ください。シンジェンタ社は、実績、前提条件の変化などの要因を反映するための将来の見通しに関するいかなる記述もそれを更新する義務を一切負わないものとします。本リリースの全体または一部は、シンジェンタ AG の普通株またはシンジェンタ ADS の売却もしくは発行を申し出るか、勧誘するものではなく、それらの購入または申込の申し出を勧誘するものでもありません。また、それらの目的のために締結される契約に関してその根拠または拠り所となるものではありません。

この件に関するお問い合わせ先

シンジェンタグループ 広報室

坂本 智美 / 大塚 真理子

電話：03-6221-1001

ファクシミリ：03-6221-1051

〒104-6021 東京都中央区晴海 1-8-10 オフィスタワーX 21 階